

外観



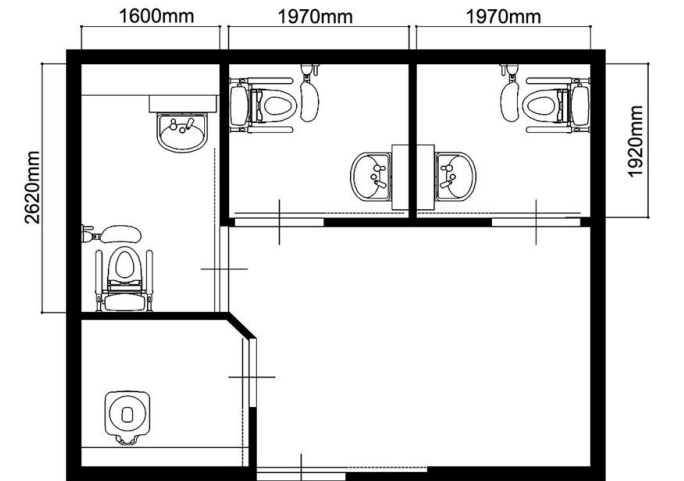
住宅地と畑が広がる開放的な環境に立地する当施設は、1Fにデイサービスえもり(定員25名)とえもり居宅介護支援事業所、2～4Fに特別養護老人ホーム(100床)とショートステイ(定員20名)が配置されている。

1Fエントランスホール横 トイレ



エントランスホール横に位置する一般トイレ。1Fには、地域交流スペースや喫茶コーナーが設けられているため、地元住民の方々を含めた幅広い利用が想定されている。

1Fデイサービス 男女共用トイレ図面



片麻痺などさまざまな身体状況に対応するため、左右勝手違いのトイレを3ヶ所設置。車いすから大便器への移乗がしやすいよう、トイレ入口を大便器の横に設けるレイアウトをとっている。

1F喫茶コーナー



エントランスホール横に位置する喫茶コーナー。伝統を受け継ぐ国産家具で有名な飛騨産業株式会社のテーブルセットを配置。間接照明を配し、ホテルロビーのような趣きのあるおもてなし空間を演出している。

1Fエントランスホール横トイレ



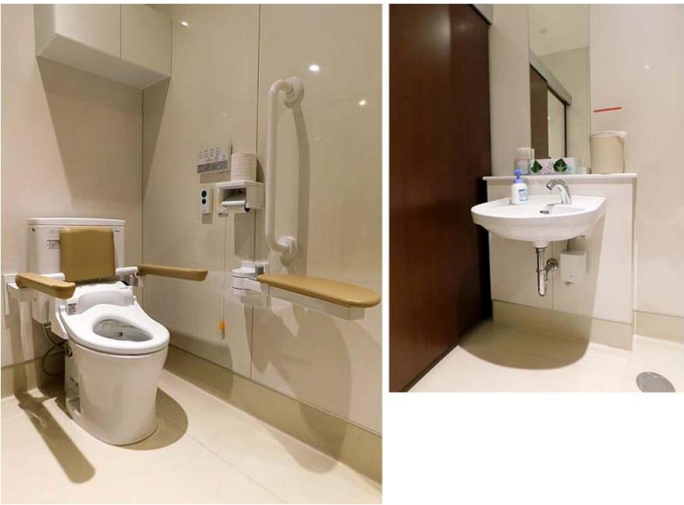
清潔感にあふれ、使いやすく機能的にレイアウトされたトイレ。多機能トイレには、オストメイト対応としてシャワー水栓を設置している。

1Fデイサービス 男女共用トイレ入口



内装は白を基調とした明るい空間。トイレブースはダークの木目調で仕上げ、温かみのある落ち着いた雰囲気を感じさせている。

1Fデイサービス 男女共用トイレ 大便器ブース



大便器に設置された前方ボード(スイングタイプ)は、車いすから大便器への移乗や排泄時の座位が安定することで、介助負担軽減につながり、介助スタッフから大きな好評を得ている。

2～4F特別養護老人ホーム トイレ

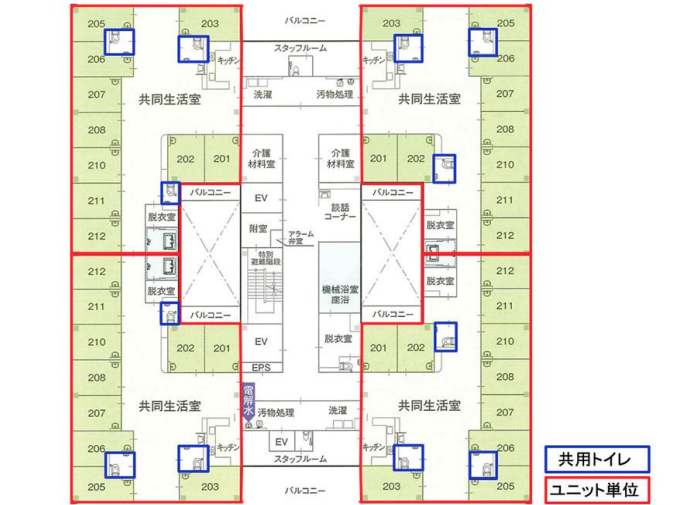


各ユニット内に3ヶ所設置されたトイレは、左右勝手違いで用意され、片麻痺など利用者の身体状況にあわせてトイレの選択が可能。デイサービスと同じく、前方ボード(スイングタイプ)を設置している。

建築概要

名称	介護老人福祉施設えもり (併設)デイサービスえもり、ショートステイエもり、えもり居宅介護支援事業所
所在地	愛知県一宮市浅井町江森字楼光寺16番地1
施主	社会福祉法人 来光会
設計	株式会社 空 建築設計事務所
施工	大和リース株式会社
開設年月	2017年4月

2～4F特別養護老人ホーム 図面



1フロア4ユニット(1ユニット10人のユニットケア方式)構成。トイレは、各ユニットに3ヶ所ずつ設置されている。

スタッフ用トイレ



スタッフの意見を反映し、トイレごとすべて異なる壁紙で仕立てている。また、ひとりになってリフレッシュできる空間として、気持ちのオン・オフを切り替える場所ともなっている。

水まわりの特長

<建物の特徴>
「介護老人福祉施設えもり」は、医療法人来光会を母体とする社会福祉法人来光会により、2017年に愛知県一宮市に開設。医療法人と連携しながら、介護サービスを幅広く展開・運営。法人理念として、「利用者の満足を高めるには、社員満足が欠かせない」という考えのもと、「人材＝人財を育み、その才能を発揮する"人財"とする」という使命を掲げ、利用者・社員ともに豊かな人生が送れる事業の推進を目指している。当施設開設にあたっては、社員が職場環境づくりに積極的に参画。効率的な作業動線を実現するレイアウトやユニフォーム、設備・備品の選定、施設内装などへの意見を反映させ、社員自身が納得する施設作りを行った。

<水まわりの特長>
同法人がすでに運営している他施設において培われた経験や検証結果を踏まえ、きめ細やかにレイアウトや商品を選定した。特に介助負担が多いトイレにおいては、前方ボード(スイングタイプ)をすべての共用トイレに設置。これまで介助が2人必要だった場合でも、前方ボードを設置することにより1人に対応できる場合もあり、介助スタッフの負担軽減につながっている。トイレをはじめ、水まわり全体に、介護老人福祉施設に求められる、高い機能性・快適性を実現されている。